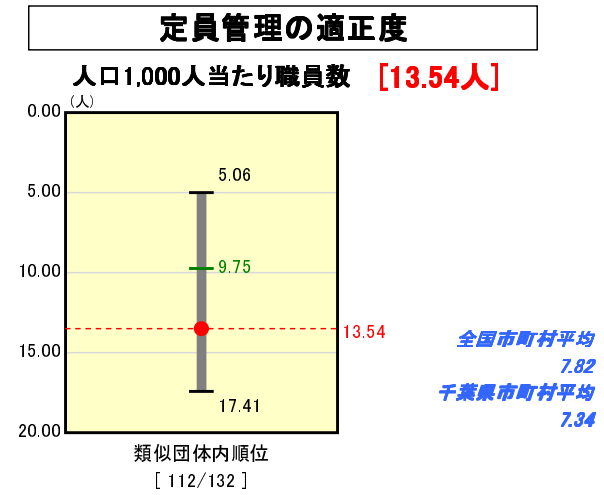
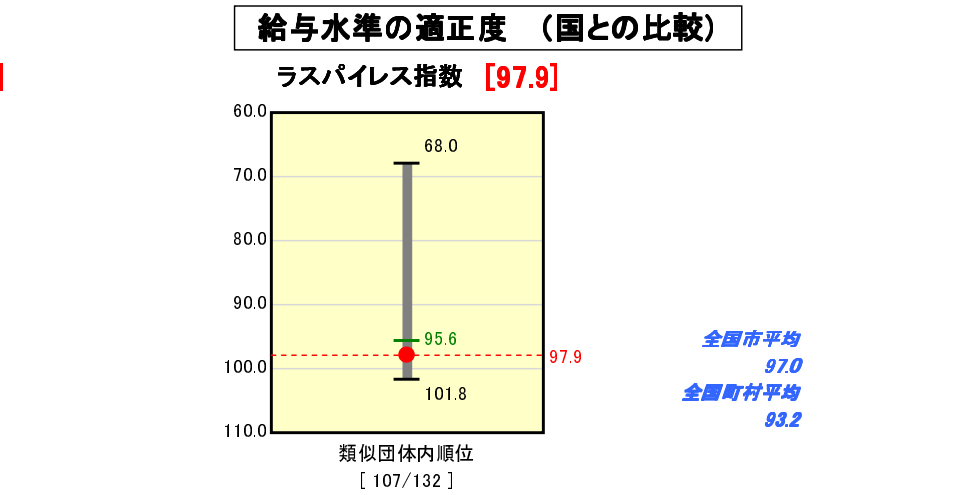
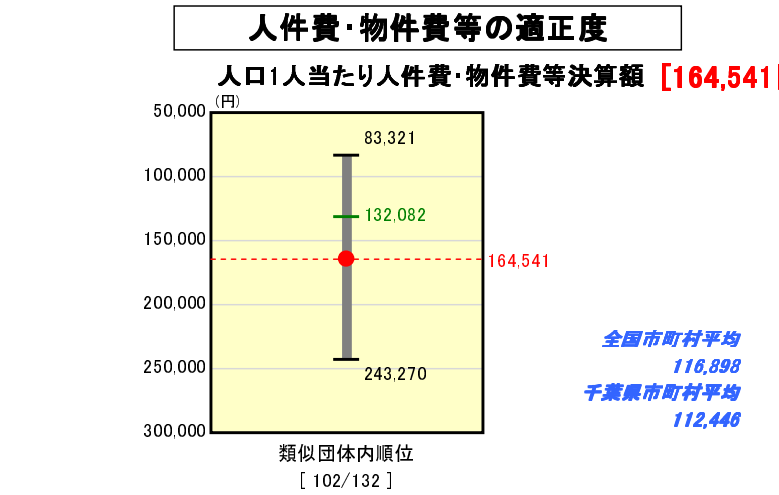
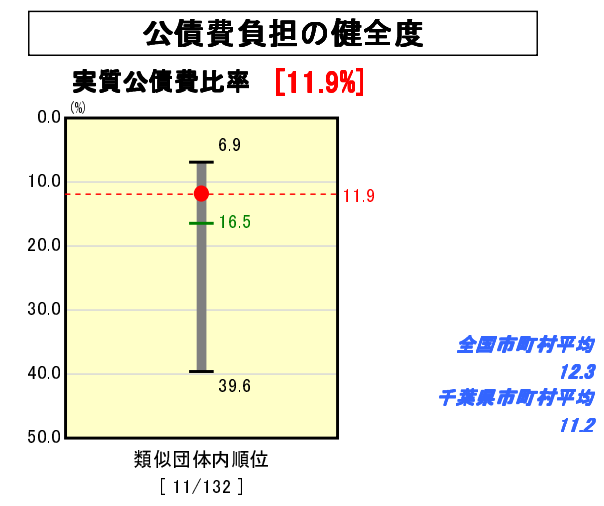
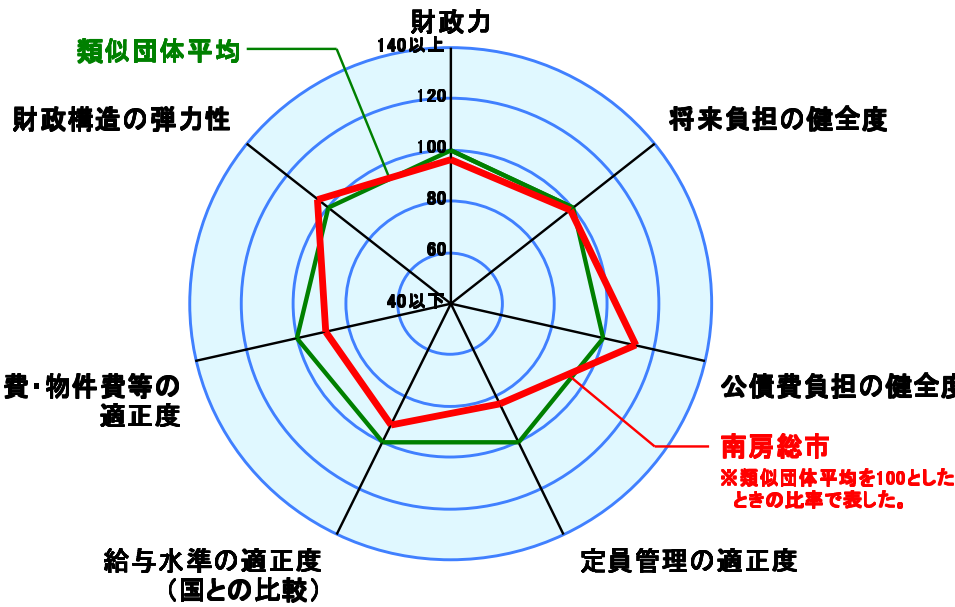
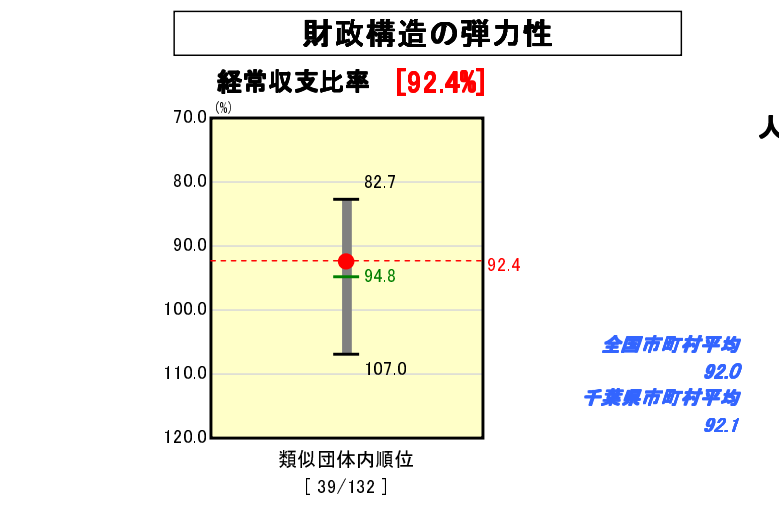
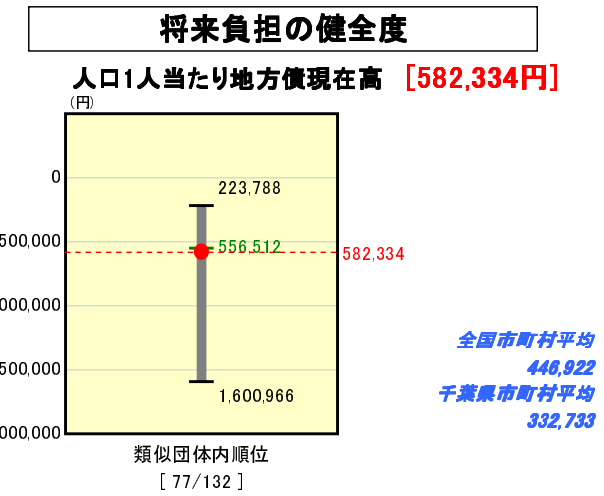
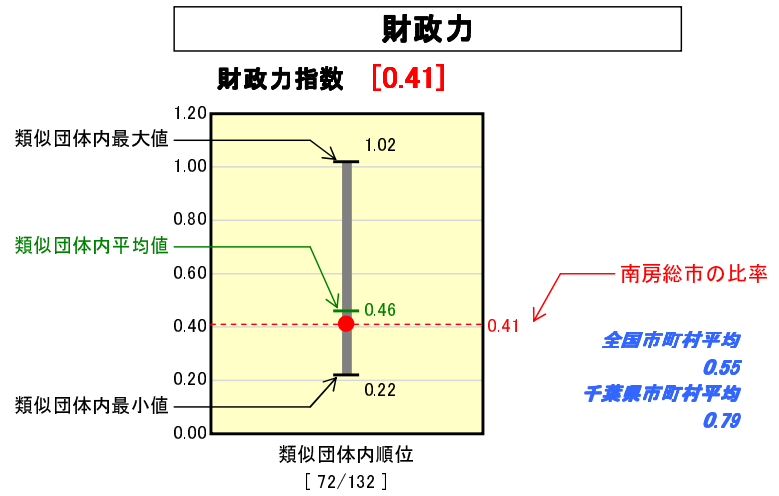


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

千葉県 南房総市

人口	44,614	人(H20.3.31現在)
面積	230.22	km ²
歳入総額	20,955,436	千円
歳出総額	19,843,927	千円
実質収支	1,091,585	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成19年度末34.4%)に加え、市内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。退職者補充の抑制等職員数の削減による人件費の削減、組織の合理化、緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制するなど、歳入の見直しを継続するとともに、税収の徴収率向上対策を中心とする歳入確保に努める。

【経常収支比率】
退職者補充の抑制(一般行政職1/10補充等)や平成19年度から実施している給与カット(常勤特別職員2%、一般職員1%)による人件費の減、事務事業の見直しによる経常経費の削減などにより、92.4%と類似団体平均を下回っている。引き続き新規採用の抑制による職員数の削減、事務事業の抜本的見直し、組織の合理化、民間委託の活用、補助交付金の見直しなど行財政改革を推進し、経常経費の削減を図る。

【実質公債費比率】
緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択と、辺地及び過疎対策事業のように地方財政措置のある有利な起債を利用することにより、類似団体平均を大きく下回っている。今後も投資事業を厳選し、元金償還額以上の新規発行は行わないなど抑制に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】
近年実施した教育施設建設事業を主要因として、類似団体平均を上回っている。後世への負担の軽減と財政構造の弾力性の確保のため、元金償還額以上の新規発行は控えるなど、財政の健全化に努める。

【ラスパイルズ指数】
集中改革プラン等に基づき職員の給与等の減額(常勤特別職員2%、一般職員1%)を実施しているが、類似団体平均と比較すると2.3ポイント上回っているため、今後も引き続き給与体系の見直しを図り給与の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
定員適正化計画に基づき、一般行政職については退職者の1/10採用を実施するなど引き続き適切な定員管理に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
人件費、物件費を主要因として類似団体平均を上回っている。これは、7団体の市町村合併により、職員数が類似団体と比べ多いために人件費が高くなっていることや、総合計画はじめ各種基本計画の策定など、合併による臨時的経費が大きくなっているためである。今後は、行財政改革の推進により削減を図る。